

燃えつきた地図 (1968)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 115分
初公開日 1968/06/01
公開情報 大映

【解説】

安部公房が自身の小説を脚色し、勅使河原宏が監督した。「おとし穴」「砂の女」「他人の顔」に続く、阿部+勅使河原コンビの第四弾にして最終作。勝新太郎と渥美清との競演や武満徹の音楽など、見どころ・聞きどころも多い。

ある日、探偵のもとへ女がやってくる。夫が失踪したので行方を捜してほしいと言うのだが、彼女は夫捜しに熱心でも協力的でもなかった。探偵は女の弟だという男と出会い、失踪した夫の日記を見せてもらう約束を取り付ける。しかし弟は暴力団同士の抗争に巻き込まれ死亡。探偵も興信所から解雇されてしまう。男は夫の部下である田代から、夫にヌード写真の趣味があったと教えられるが、それは嘘だったことが判明する。田代は弁明しようとしたが男は聞き入れず、田代はそのまま自殺してしまった。

【クレジット】

監督 勅使河原宏
製作 永田雅一 [製作]
企画 市川喜一
原作 安部公房
脚本 安部公房
撮影 上原明
美術 間野重雄
音楽 武満徹 Toru Takemitsu
出演 勝新太郎
市原悦子
中村玉緒
渥美清
長山藍子
酒井修
笠原玲子
吉田日出子
小松方正
田中春男